

昨年は、協議会の活動としてミズアオイの再生活動を行い、多くのミズアオイが再生しました。

その他にも、近隣の小中学生などが参加し撤去される水路に生息する魚類の救出作戦やトンボの観察会を開催しました。

今年も、活動を引き続き継続していきますので、皆様方のご協力、積極的なご参加をお願いいたします。

れんこんだまり

No.30
2011年1月11日

《自然再生事業に関する取り組み》

■自然再生事業の取り組み位置図



■刈り払いによるヨシ群落の生物多様性増進実験

第3工区で、ヨシやオギが繁茂し単純化した湿地の多様性を増進させるための実験を、湿地再生・植生管理部会で実施します。そのための事前準備として、対象区域のヨシの刈り取りが昨年12月に行われました。

今後は部会で刈り取りエリアに試験区を設け刈り取り時期の違いによる植生変化を観察し、その結果を踏まえヨシ等の生育を抑え、多様性のある湿地の再生を目指します。

刈り取り前の様子



刈り取り後の様子



池の掘削イメージ



■第1工区の池沼部の掘削

第1工区では、治水整備の中で池部分の市道撤去にあわせ、多様性のある池沼環境を再生し在来魚を保全するために、池の深掘りを実施しました。

今後第1工区では、現在池部に生息している魚類を把握するため、調査を実施する予定となっています。

■第3工区に案内板が寄贈されました

麻機遊水地第3工区局舎前に、第3工区の地図や遊水地で見られる動植物の写真を紹介した案内板が、静岡市内の5ライオンズクラブより10月24日に寄贈されました。

寄贈式には、ライオンズクラブのメンバー約150人と静岡県や協議会委員が参加し、目録を静岡土木事務所の井上所長が受け取りました。

今後はさらに、局舎下に現地作業で使用する道具を入れるための倉庫を、ライオンズクラブより寄贈される予定となっています。



寄贈式の様子



寄贈された案内板

■自然再生講習会が開催されました

12月5日に「河川・湿地の自然再生の理念と技術」と題し、もくせい会館で第二回自然再生講習会が日本生態学会の主催で開催されました。

講習会では、本協議会の事務局である静岡土木事務所が、協議会での取り組み概要について紹介するとともに、京都大学の竹門先生、神戸大学の角野先生、北海道大学の中村先生が全国での自然再生の事例や、麻機遊水地での自然再生に対する取り組みのアドバイスについて講義が行われました。

講習会には、県内外から約150名の方が参加し会場と講師の方との意見交換も行われました。



自然再生講習会の開催の様子

【麻機遊水地の自然再生に関する活動の支援、参加を募集しております】静岡県静岡土木事務所河川改良課

TEL:054-286-9363 FAX:054-286-9398

URL:<http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki2/shizuoka/tomoegawa/>